

名取市の地域学校協働活動

名取市では、「愛されるふるさと なとり～共に創る 未来へつなぐ～」(名取市第六次長期総合計画2020-2030)の実現に向けて、「地域ぐるみの学校支援」「地域特性を生かした教育の推進」として、「地域学校協働活動事業」の推進に力を入れています。持続可能な街づくりを目指して、地域住民が主体となって取り組んでいます。

01

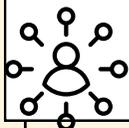


15の協働本部

名取市では、令和元年度から整備を始め、現在すべての小・中・義務教育学校に地域学校協働本部が設置されています。

協働本部は名取市と業務委託契約を結び、直接学校や地域とやり取りをしながら活動しています。

沿岸部や平地、丘陵地、また、市街地から農村部まである名取市で、様々な地域の特色や良さ、伝統や文化を生かした活動を自由に行うために学校区ごとに本部が設置されています。



02



コーディネート機能

学校に置かれた協働本部には、それぞれ地域コーディネーターがいます。地域コーディネーターは「学校を核とした地域づくり」を実現するために、学校と地域、地域住民同士、また、その他の関係機関をつなぐ役割をしています。

名取市では、教育委員会から委嘱された34名の地域コーディネーターが活躍しています。相互台小学校区では、その役割を相互台公民館が担っています。また、ボランティアの紹介や地域住民への活動の周知のため、各地の公民館も協力しています。

03



多様な活動

多様な活動や、住民との距離が近い活動が、地域学校協働活動の中で行われています。学校支援活動はもちろんですが、地域活動や家庭教育、放課後の子どもの居場所づくりに関する取り組みも進んでいます。(裏面をご覧ください。)

- ボランティアに興味がある。
- 学校に協力したい。
- 子どもたちのために何かしたい。
- 自分の趣味を生かしたい。

そんな思いが心をよぎったら、遠慮なく地域コーディネーターに相談してください!!!